

受験 番号	
----------	--

3※

課題3 明子さんは、岡山県北に住む祖母が急病で入院したことから、一朗さんを交えて先生と話しました。あとの会話を読んで、(1)～(3)に答えましょう。

先生：先日、おばあさんが救急車で運ばれて、大変だったね。病院まで1時間もかかったんだね。

明子：そうだったんです。

先生：資料1をみてごらん。都道府県ごとに人口10万人に対してどのくらいの数の医師が働いているかを示しているグラフだよ。

一朗：岡山県は全国平均を上回っていますね。日本全体の傾向としては

A

 といえると思います。

(1) 一朗さんの会話文の

A

 にあてはまる内容を、資料1から読みとって書きましょう。

A	
---	--

先生：では岡山県の地域別の医師の数をまとめた資料2をみてごらん。

明子：aからcの地域のお医者さんの数は全国平均を上回っているのに、dやeまでの地域では全国平均を下回っているわ。

先生：地域によって十分な人数の医師がいないなど、地域ごとの医師の数に大きな隔たりがあることを「医師の偏在」というんだよ。しかし「医師の偏在」の問題は、診療科でもおこっているよ。もう一度、資料2をみてごらん。

一朗：本当だ。真庭市では

B

 のお医者さんは岡山県の平均よりも多いのに、

C

 や

D

 のお医者さんの数は岡山県の平均の半分もないね。

明子：高梁市や新見市では特に

D

 のお医者さんの数が少ないわ。

一朗：おばあさんが病院まで救急車で1時間もかかったのは、近くに専門のお医者さんがいなかったからだね。

(2) 一朗さんと明子さんの会話文の

B

 と

C

 ,

D

 にはいる診療科の名前を書きましょう。

B		C		D	
---	--	---	--	---	--

一朗：ところで、どうしてこうした「医師の偏在」がおこるのですか。理由は何ですか。

先生：いろいろな理由があるといわれているのだけど、資料3をみてごらん。これは、十分な数の医師がいない地域の病院に勤務できないと考えているお医者さんに、その理由をたずねたものをまとめているよ。

明子：でも住んでいる場所によって、すぐにお医者さんにみてもらえるかどうかの違いが出てくるのは、おかしいと思うわ。すぐに適切な治療をすれば治る病気でも、治療が遅れると後遺症が残ったり、手遅れになったりすることがあると思うわ。住んでいる場所で、病気を治したり、治せなかったりするの、平等な社会だとはいえないと思うわ。

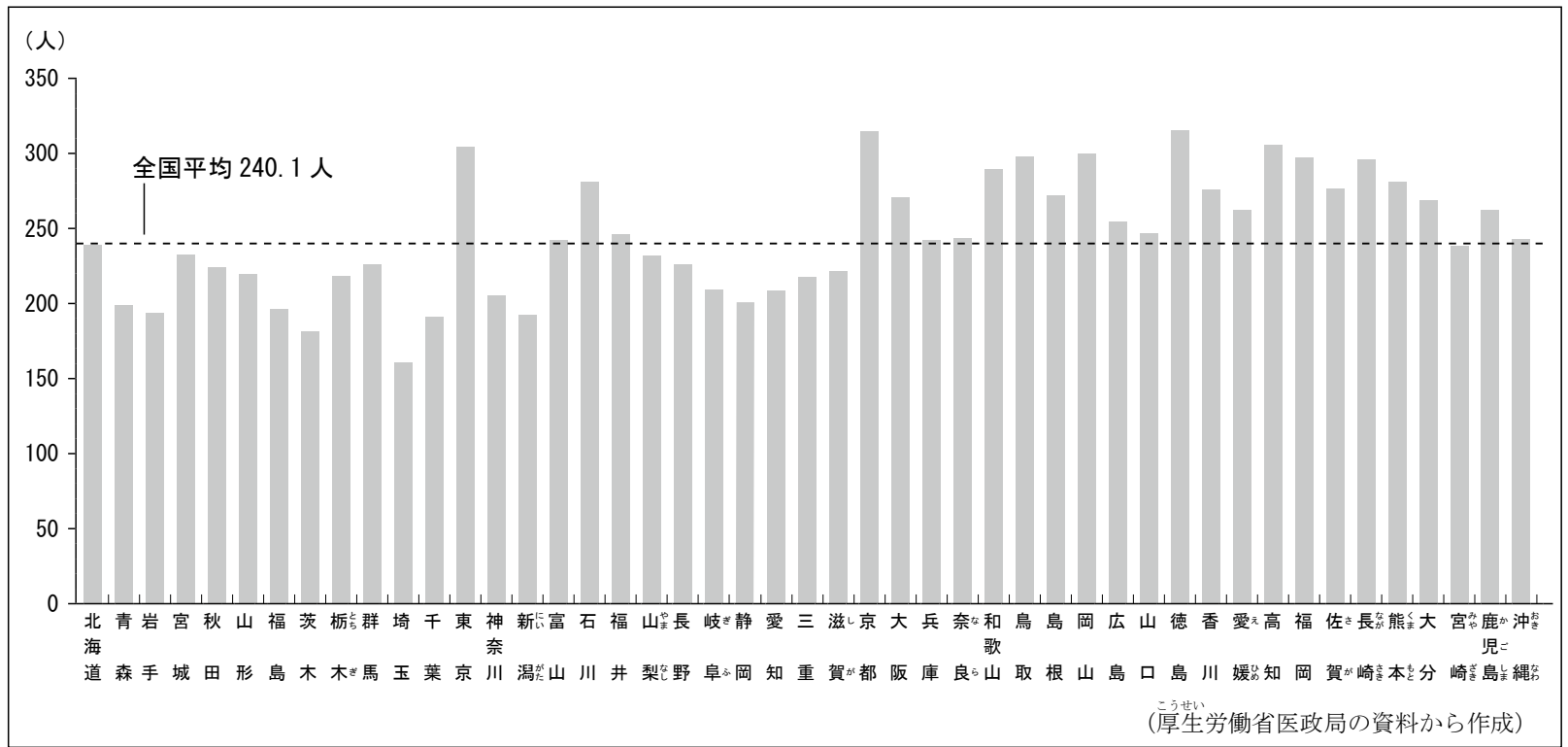
先生：そうだね。これからの地方の医療について、「医師の偏在」について、みんなで考えていく必要があるね。

(3) 資料3を参考にしながら、十分な数の医師がいない地域の医師を増やすために有効な方法について考えて書きましょう。

--

受験 番号	
----------	--

資料1 都道府県別人口10万人に対する医師数



資料2 岡山県内地域別人口10万人に対する医師数

	(人)				
	医師数	内科	外科	小児科	産婦人科
県平均	301.1	120.3	30.2	16.5	12.2
a	337.4	128.6	33.7	19.1	14.9
b	294.6	118.0	28.1	15.4	10.3
c	218.9	108.2	20.9	13.4	9.2
d	203.2	91.4	42.7	4.4	6.0
e	191.1	89.6	21.9	12.5	8.8

(岡山県地域医療支援センターの資料から作成)

※ 数字は全て人口10万人に対する医師数である。
 ※ 表中の a は岡山市などの岡山県南東部、b は倉敷市などの岡山県南西部、c は津山市などの岡山県北東部、d は真庭市などの岡山県北中部、e は高梁市や新見市などの岡山県北西部である。

資料3 医師へのインタビュー

【40 歳代のある医師】
 私は医師不足に悩む地域の病院で働いてもいいと考えているが、家族が反対しています。特に高校生の長男と中学生の長女が来年、それぞれ大学入試と高校入試を迎えることとなります。子供が転校する学校のことや塾のことなどが心配で、特に妻が大反対しています。子供たちの入試が終わるまでは、医師不足の地域の病院で働くことは無理かなと思っています。

【30 歳代のある医師】
 十分な数の医師がいない病院で仕事をするには、大きな不安を感じています。入院患者さんのことを考えると、朝早くから深夜まで病院で仕事をするようになると思います。また救急の患者さんに備えて、当直という夜間の病院での待機もすることになると思います。休日がとれないような状況で仕事をするようになると思うと、体力的に自信がありません。

【20 歳代のある医師】
 やはり私のような若い医師の場合、いろいろな患者さんの病気を治療しながら、医師としての経験を積んでいくことが大切だと思います。そのためには最新の医療機器を使って診断や治療をすることが必要だと感じています。しかし最新の医療機器は、都市の大きな病院でないとそろっていないと思います。医師としての経験を積むために都市の大きな病院で仕事をしたいと思っています。